

令和5年度 第2回鳥取大学経営協議会 議事要旨（案）

日 時 令和5年9月22日（金） 13:30 ~ 14:56
会議方法 対面会議（オンライン併用（Google Meet））
会 場 事務局棟3階 第1会議室
出席者 （学外）占部，江崎，林田，平井，松本，宮崎，吉岡，渡辺の各委員
（学内）中島，河田，原田，山口，小嶋，藪田，坂本，武中の各委員
陪席者 田中監事，足立監事，山根副学長，後藤副学長，岡田副学長，安延副学長，
川村副学長，香川副学長，岸本地域学部長，景山医学部長

<委員の紹介>

議長より，令和5年度より経営協議会委員に就任した委員の紹介があった。

議事要旨の承認

前回（令和5年6月19日開催，令和5年度第1回）の議事要旨を承認した。

議 題

1. 2023年度における国立大学法人ガバナンス・コードへの適合状況等の確認・公表について

資料1に基づき，前回の経営協議会後に学外委員からいただいた意見を踏まえた「適合状況確認表」の修正案，公表に係るスケジュールについて説明があり，審議の結果承認した。

2. 令和5年人事院勧告について

資料2に基づき，令和5年人事院勧告に係る本学の対応について，国家公務員の給与改定に準じ，本学職員の給与及び役員報酬を改定する方針とすることについて説明があり，審議の結果承認した。

— 委員からの主な発言 —

◇委員より，今回の人事院勧告は給与水準の改定だけでなく，働き方についても細かく踏み込んだ勧告となっているが，大学として勤務に関連した規程を変える予定があるかとの質問があり，これに対して，勤務制度の改正は制度を利用する職員だけでなく，他の職員への荷重も併せて考えなければならず，本学としてはこれから慎重に検討していきたいとの説明があった。

◇委員より，資料の人件費への影響額は，今後予想される附属病院の働き方改革に伴う人件費の上昇も加味しての額かとの質問があり，これに対して，影響額

は現在の職員数で試算したものであり、今後働き方改革で職員数を増やすことになった場合、経費としては膨らんでいくと思うが、病院の意見を聞きながらやっていきたいとの説明があった。

報 告

1. 令和4年度業務実績報告書（概要）について

資料3に基づき、法人評価に関する自己点検・評価結果として「業務実績（概要版）」を作成したことについて報告があった。

2. 令和6年度国立大学法人運営費交付金概算要求

資料4に基づき、令和6年度概算要求について説明があり、文部科学省から財務省に提出された概算要求事項及び要求額について報告があった。

3. 令和4事業年度財務諸表の承認

資料5に基づき、令和4事業年度財務諸表が令和5年8月31日付けで文部科学大臣より承認を受けた旨報告があった。

— 委員からの主な発言 —

◇委員より、今後海外との交流をどのように発展させていくのかとの質問があり、これに対し、中心となるのは乾燥地研究センターであるが、乾燥地に係る共同研究だけでなく、本学にはGlobal Gateway Programがあり、学生を様々な国へ派遣する仕組みがある。学生が海外に出て学ぶというのは将来プラスとなることであり、そのためにも資金的サポートも含めた学生が海外に行ける仕組みづくりが大事である。今後も高いレベルの大学と交流を続けていきたいとの説明があった。

◇委員より、鳥取大学にも乾燥地研究センターや染色体工学など先進的研究が進んだ分野があり、国の補助金を採れるテーマがあると思う。地域と協力しながら、そうした先端教育を行う大学であることをアピールし、地域の高校生が好んで入学する大学になればよいと思うし、地域の企業と結びついてそれが雇用につながるとよいとの意見があった。

◇委員より、鳥取の魅力が何であるか（自然が近い、大学の研究の連携がしやすい、病院の改革が先進的である等）といったことをぜひ明確化し、前面にアピールするようにするとよいとの意見があった。

◇委員より、先日の台風7号に関する見舞いの言葉とともに、これから100年を考えた場合、気候変動により激甚災害が増えていくという予想がある中、これを機

に災害に強い部分を作っていく長期ビジョンの土木を、鳥取から新たに発信していけると有益ではないかとの意見があった。

その他

資料6に基づき、最近の本学の主なトピックスについて説明があった。

資料7に基づき、令和5年度第3回を11月20日開催予定である旨説明があった。